

千葉県知事 熊谷 俊人 様

生活協同組合コープみらい
理事長 新井 ちとせ

2021 年度ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

2022 年 4 月 25 日

* 数値は 2021 年 3 月 20 日時点

1. 報告

生活協同組合コープみらいの 2021 年度「ちばSSKプロジェクト等に関する取り組みの年間計画」に基づく、ちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2021 年度計画のまとめ

生活協同組合コープみらいは、商品の宅配など日々の業務と組合員の活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

- (1) 県内の全市町村と締結している高齢者の見守り協定に基づき、コープデリ宅配・店舗事業の中で異変を発見した際に、市区町村や警察等へ通報します。
- ▶2021 年度に宅配事業と店舗事業において、業務中に異変などを発見し、通報した件数は 47 件（宅配 38 件、店舗 9 件）でした。

【見守り事例】

暫く体調が優れず、前週にはお会いできなかった組合員さんのお宅で、前週に届けた商品が玄関先に置かれたままになっていました。異変を感じた配達担当者から宅配センターへ連携し、宅配センターより警察に連絡。警察がご自宅を確認したところ、部屋で倒れて動けない状態の組合員さんを発見しました。その後病院へ搬送され一命を取り留めた組合員さん。後日、ご家族の方から「あなたは命の恩人です」とお礼のお電話が入りました。

- ▶コープみらいの移動店舗ふれあい便では、袖ヶ浦市にあるミニコープ蔵波店を拠点に、市原市、木更津市、君津市の買い物が困難な地域や高齢化の進んだ団地、高齢者施設等 56 か所の停留所を週 1 回巡回し、高齢者の買い物を支援しました。
- (2) 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。
- ▶新地域支援事業に関する会議
 - ・四街道市たすけあい連絡会
 - ・市川市地域ケア推進会議（コロナウイルスの影響により延期）

- ・白井市ふれあい会議第2層協議体B圏域（コロナウイルスの影響により中止）
- ▶高齢者見守り等に関する会議
 - ・千葉市孤独死防止通報制度連絡会議（Zoom開催）
 - ・松戸市高齢者等の見守り活動に関する締結事業者の定例会
（コロナウイルスの影響により中止、書面による活動実績報告）
 - ・習志野市高齢者見守り事業者ネットワーク会議
（コロナウイルスの影響により書面による活動実績報告）
 - ・一宮町地域支援ネットワーク会議（コロナ禍により中止）

II 「ちばSSKプロジェクト」

- (1) 「ちばSSKプロジェクト」の施策を周知するために、情報紙「ちばインフォメーション」（県内35万部発行）等の広報媒体の中で、「ちばSSKプロジェクト」について紹介します。
 - ▶「ちばインフォメーション」10月18日号に、「ちばSSKプロジェクト」の紹介とともに、コープみらいでの対応事例について掲載しました（添付資料①）。

III 認知症対策

- (1) 職員や組合員、地域の方を対象に、認知症サポーター養成研修を実施します。
 - ▶コープみらいでは、2009年度より採用時研修の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。また、各事業所の責任者が認知症サポーター養成の講習ができるように講座を受け、各事業所で講習を行なっています。認知症に対する知識と理解を持って、地域における見守り活動を進めています。昨年度に引き続きオンラン講座を開催し、新たに16人のサポーターを養成しました。
 - ▶組合員活動でも山武市地域包括支援センター（会場開催）と白井市地域包括支援センター（オンライン開催）の協力のもと認知症サポーター養成講座を開催しました。
 - ▶松戸市常盤平地域包括支援センターの認知症カフェの会場提供も、コロナウイルスの影響により実施できませんでした。

IV 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

- (1) 組合員と地域の方が気軽に参加できる“地域に開かれた笑顔あふれる居場所”「みらいひろば」を県内各地で開催し、高齢者も含め多世代間の交流を進めます。
 - ▶今年度もコロナ禍で開催できない会場が多くありましたが、感染対策をとって実開催したり、オンラインを活用して開催し、年間で438会場、参加人数は2,064人となりました。例年では高齢者が多数参加し、高齢者の仲間づくりや多世代交流の場としての役割を果たしています。

【みらいひろばでの事例】

市川市にある妙好寺の【てら cafe 燦燦】にてみらいひろばを6月に開催しました。コロナ禍で2020年11月以来開催を見合わせていたため、待ちに待った集いの場に笑顔があふれていました。多世代でメンバーの人数が多いため、前半と後半の2部制とし、入れ替え時には机などの消毒をして感染対策にも配慮し開催しました。近況を話ながら短時間で作れる折り紙を使った季節の貼り絵も楽しみ、時間短縮での開催とあって、名残惜しくもあっという間に終了の時間となりました。

(2) 組合員と地域の方のグループ活動を応援する「地域クラブ」の制度を通して、高齢者の生きがい、健康、仲間づくりを応援します。

- ▶「地域クラブ」の登録数は全体で820件（全世代含む）となり、高齢者も含め食・健康・福祉などをテーマに生き生きと活動しています。また、高齢者のくらしをサポートする活動も活発に行なわれています。

【地域クラブの事例】

地域クラブ「子どもの未来を考える会」では、高齢者を対象にオンラインでつなぐサロンを開催しています。メンバーのお孫さんや他の団体の力を借りてやっと開催できるようになりました。また、コロナ禍での孤立が影響し、認知症が進んだり、ひきこもりや体調不良になる方がグループを抜けることもあります。そのような方の現状を聞き取り、市のサービスを受けられるように働きかけも行っています。

(3) 食育プログラムやエコプログラムを、老人クラブなど高齢者向けに実施します。

- ▶感染症防止対策を行ったうえでの実開催や、オンラインを活用した講座を実施することで、食育プログラムを1会場26人、2020年度より新設した防災・減災プログラムを3会場51人に実施しました。エコプログラムの実施はありませんでした。

(4) 自治体の進める「生活支援体制整備事業」への貢献を目的に、一層・二層の協議体への参加、地域包括ケアシステムにおける地域コミュニティへの参画や社会福祉協議会との協働を進めます。

- ▶第一層・第二層協議体への参加は、「2. 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。」の報告に記載したとおりです。
- ▶コロナ禍で困難を強いられている生活困窮者の支援のため2022年3月より1年間を通し、食品等支援を行っている白井市社会福祉協議会へお米の寄贈を開始しました。

V 高齢者の安全、安心

(1) 千葉県くらし安全推進課と連携し、情報紙「ちばインフォメーション」に高齢者の消費者被害防止に向けた啓発記事を掲載します。

- ▶「ちばインフォメーション」に、「消費者被害防止」「交通安全運動」等に関する啓発

記事やイベント等の情報を計 10 回掲載しました（添付資料②）

- ▶「みらいひろば」の参加者向けに配布する通信にて「成年年齢引き下げと消費者被害防止」について掲載し、家族への注意喚起を呼びかけました（添付資料③）。
- ▶コープ花見川店サービスカウンター横で、千葉県消費生活センターが 2 か月に 1 回相談窓口を設置し、消費者センターの紹介及び簡単な相談を受け付けていましたが、2021 年度も引き続きコロナウイルスの影響により実施できませんでした。
- ▶ちばし消費者応援団への登録から消費者被害の情報の提供を行ないました。

以上